

2024年2月18日

## 「赦す訓練」

私たちが生きている世の中には、排斥と苦い根と侮辱が横行しているため、誰であっても無視されたり、不条理なことを経験したりします。そのような世で生きる私たちですが、人を赦していかねばなりません。そして、キリスト教で教える赦しには一連の訓練が必要です。

真の赦しは感情的なものではありません。私たちが赦したいと思うから赦すのではなく、そのように思う前から赦すべきだということです。「怒りがおさまったら、相手を非難しないようにしよう」と考えるかもしれません。しかし、「祈るために立ち上がる時、誰かに対し恨んでいることがあるなら、赦しなさい」(マルコ 11:25) というイエス様の教えは、赦しは感情的なものではなく、意志による行為であることを示しています。イエス様が教えられたように人を赦すなら、私たちの心が柔らかくなって、憎しみと怒りの牢獄から出るができます。

悪に勝つ秘訣は、悪とその悪を犯した人を切り離すことです。本当の敵はその人の中の悪であり、私たちが勝つべき相手は、ほかの人や自分の心の中に潜んでいる悪です。これらに勝利するなら、悪は私たちのところの中で拡散せず、私たちのコントロール下にあり、憎しみや高慢が私たちの中に入って来ることもありません。

加害者も私たちが怒りと復しゅうの悪循環に引き込むことはできません。私たちが神様の相続者であり、キリストとともに最高に富んだ身分であることを悟るなら、加害者に向かって「あなたは私を壊せません。私のまことの豊かさを奪うことは、絶対にできません」ということができます。

月刊誌 リビングライフより

# 週報

§ 今年の教会テーマ  
「主を仰ぎ見つつ」

§ 今年の主題聖句

「信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。」 ヘブル 12章2節

「彼らが主を仰ぎ見ると、彼らは輝いた。」 詩篇 34:5

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2  
宗教法人 日本ネクスト・タウンズ・クルセード  
鈴鹿キリスト福音教会  
059-383-5145(教会)

2月11日

本日のメッセージ 「神の主権とご自分の民への慈愛」  
聖書箇所 エステル記 4:9～17

中心聖句 「…あなたがこの王国に来たのは、もしかすると、  
このような時のためかもしれない。」エステル記 4:14

①神は召された民を通して現される  
成熟へと養われる必要  
使命と賜物

②使命のうちに現される“キリスト”  
苦難の中強められる信仰  
正しい願いに変えられる  
願いと欲望  
エステルの死の決意  
エステルとユダヤ人たち 3日3晩の断食の祈り

質問：兄弟との分かち合い、個人のディボーションにご利用下さい。

・あなたが召された場所や関係（家庭、教会、職場、友人関係、地域…）において、神様から与えられている使命があります。願いや志しを分かち合い、御言葉の確信を祈り求めましょう。

・その使命のために捨てる“いのち”とは、あなたにとって何でしょうか？

・今自分に与えられている地域教会のため、宣教地における神の家族の共同体のため、とりなし祈りましょう

神は能力を見て判断せず、神に主権を明け渡す“砕かれた魂”を通して、神の栄光を現されます。能力ではなく、意志の問題です。自分の無力さを認め、『私は、私を強くして下さる方によって、どんなことでも出来るのです』（ピリピ 4章）と、一步踏み出して参りましょう。

## 【報告】

※ 新年集会として計画していましたが、長沢先生を講師に迎えての「賛美集会」は都合で延期になっていましたが、改めて4月14日（日曜）に開催できることになりました。長沢先生には午前の礼拝と午後の「賛美集会」で御用していただく予定です。また午後の集会には交わりにある NTC の教会や近隣の教会にも案内し合同集会として持つことにしています。

※ 3月3日（日曜）の午後には「会話伝道セミナー」を午後1時半から持ちます。この「会話伝道セミナー」は、誰もが自然な会話の中でイエス様の恵みを証しできるようにということを目的にしています。日本ギデオン協会から派遣される講師を迎えて行われます。会場の準備やテキストの用意などの都合がありますので、参加希望者は申込書に名前を記入してくださいませようお願いします。

※ KBI 神学生の泉田兄は、現在関西聖書学院の宣教チームの一員として香港で宣教奉仕中ですが、今週金曜日に帰国する予定です。主の祝福と守りをお祈りください。